

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-1
健康づくりの推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

薬事衛生課 田原 研司

電話番号

0852-22-5257

事務事業の名称	エイズ予防対策推進事業	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	エイズのまん延防止を図る
事業概要	1. エイズ予防のための普及啓発事業：エイズに対する正しい知識を普及するため、県民に対し、キャンペーン等を実施する。 2. エイズの早期発見対策事業：エイズ感染者を早期発見するため、県民に対し、無料相談や検査を実施する。 3. エイズ医療体制確保事業：適切な医療を提供できるようにするため、エイズ拠点病院に対し、カウンセラーを派遣するとともに、研修会への医師等を派遣する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	患者発生数	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0	人
	式・定義	患者発生数	取組目標値						
			実績値	1.0	2.0	0.0			%
			達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						%
			達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	1,832	2,872
うち一般財源 (千円)	728	1,438

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- ・全国での新規患者届出数は、年約400例程度を推移しており、新規HIV感染者及び患者の3割を占める状況は改善されていない。
- ・県では例年0~2例届出の状況が続いている。
- ・県内保健所でのエイズ迅速検査件数は、29年度258件と減少傾向にある。(28年度277件、27年度346件)
- ・保健所でのエイズ迅速検査によるHIV陽性者は、29年度0件(28年度1件、27年度0件)

6. 成果があったこと(改善されたこと)

- エイズ予防のための普及啓発
 - ・エイステアを公益財団法人及び高校生と実施し、マスコミに取り上げられた
- エイズ医療体制確保事業
 - ・県歯科連絡会において連絡体制が確立

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- ・エイズ出前講座を長年実施してきたが、学校での対応が保健所スタッフが中心で行われている。
- ・患者発生届出は少ないが、県内で治療中のHIV感染者は10名以上、その実態は把握できていない。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・エイズに関する知識や理解のある教育現場スタッフが十分に育成されていない。
- ・HIV陽性者が高齢化していき、地域の医療・福祉サービスの需要が増えることが予想されるが、準備できていない。

③原因を解消するための「課題」

- ・養護教諭等に対する知識の提供。
- ・医療機関や福祉施設職員に対するHIVに関する知識の提供や啓発。
- ・医療機関や福祉施設でのHIV暴露後の対応マニュアルを整備及び周知する。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ・様々な広報媒体を活用しHIV検査の必要性についてPRを行う。
- ・保健所での相談、無料検査については引き続き実施。
- ・中高生への啓発資材を、学校に対し配布するとともに、教育を行う講師を育成する。
- ・医療機関や福祉施設等を対象の研修会を企画すると共に、関係者の中央研修への参加を助成。
- ・HIV感染暴露後の緊急対応のため、エイズ予防内服薬を適正に配置していく。
- ・エイズ拠点病院を中心とした医療機関間での情報共有や医療体制を確保するため、県エイズ拠点病院等連絡調整会議を開催。